

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和4年12月5日
発行者：袋井市企画政策課

森町袋井インター通り線 整備促進へ大きく一歩前進

至 森掛川 IC

至 袋井 IC



県と市町が「整備方針覚書」締結

2022.11.17 静岡新聞(朝刊)

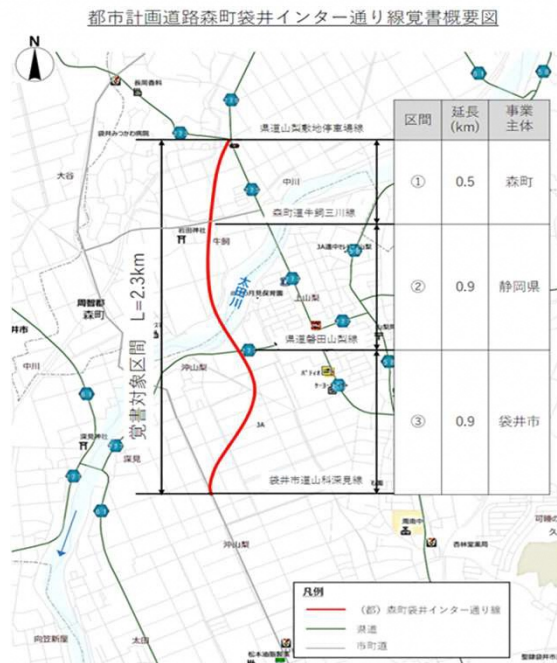
**森町袋井インター通り線
整備方針覚書 締結**
県と市町

森町袋井インター通り線は、行政界をまたぐ2.3km区間。太田川を通過し、橋の架設など事業の進め方が課題だった。両市町が10年以上、整備促進に取り組む重要路線。市役所で締結式が開かれ、計画の始動に向けて役割を明確化した。森町の新東名高速道路森掛川インターチェンジ(IC)から、袋井市の東名高速道路袋井ICや国道1号を結ぶ広域幹線道路。同路線の整備で周辺の活力創出などが期待できるため、両市町は2009年に期成同盟会を発足。県への要望活動や勉強会などを行ってきた。覚書の対象は市町の

(都)森町袋井インター通り線整備方針に関する覚書

覚書を締結した大場市長(左)と太田町長(右)と酒井所長＝袋井市役所

市長と太田康雄町長、県袋井土木事務所の酒井浩行所長らが出席。大場市長は「地域経済の活性化と私たちの安全安心を守る上で大きな意味を持つ」とあいさつし、太田町長は「(覚書締結は)大きな一歩。事業が順調に進むことを願っている」と期待を寄せた。



「森町袋井インター通り線」の整備促進について

